

FinOpsとは、**クラウドとテクノロジーのビジネス価値の最大化**、データに基づいたタイムリーな意思決定、チーム間のコラボレーションを通じて財務上の説明責任を生み出すための運用フレームワークおよび組織文化的なプラクティスである。

原則

-  チームはお互いに協力する必要がある
-  ビジネス価値に基づいて、テクノロジーに関する意思決定を行う
-  すべての人が自分のテクノロジー利用に当事者意識を持つ
-  FinOpsデータはアクセスしやすくタイムリーで正確であるべき
-  組織横断の専門チームが中心となりFinOpsを推進するべき
-  クラウドの変動コストモデルを活用する



スコープは、実践者がFinOpsフレームワークを適用するためのコンテキストを提供する。



パブリッククラウド



SaaS



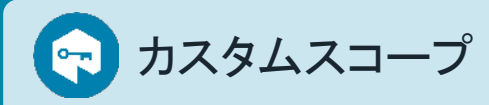
データセンター



ライセンス



AI

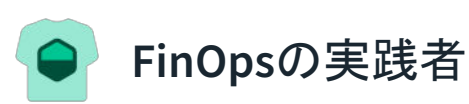


カスタムスコープ

コアペルソナは、FinOpsの実践に常に関与する。



エンジニアリング



FinOpsの実践者



財務



リーダーシップ

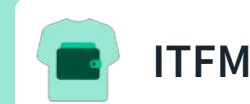


調達



製品

関連ペルソナは、FinOpsの実践をサポートする。



ITFM



ITAM



ITSM



保安



持続可能性

ドメインはFinOpsの実践で得られる成果をあらわしたものであり、ケイパビリティはその成果を達成する方法を示したものである。

使用量とコストの理解



持続可能性



割当

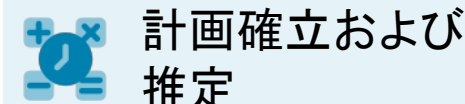


報告と分析



異常管理

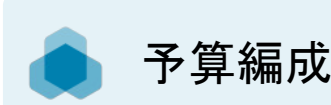
事業価値を定量化する



計画確立および推定



予測



予算編成

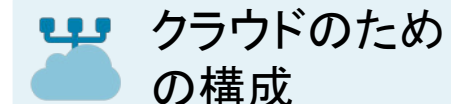


ベンチマーキング

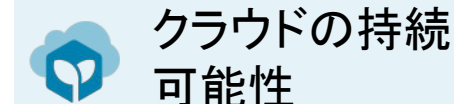


単位経済学

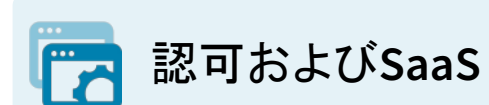
使用量とコストの最適化



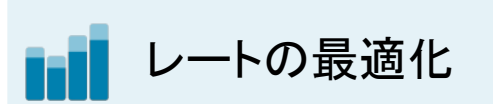
クラウドのための構成



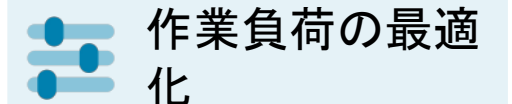
クラウドの持続可能性



認可およびSaaS



レートの最適化

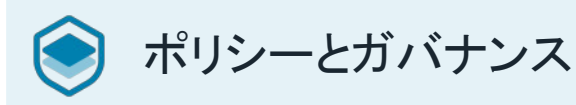


作業負荷の最適化

FinOps実践を管理する



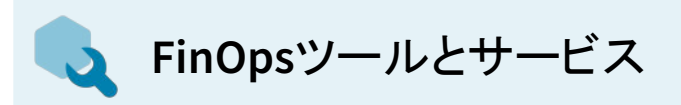
FinOps実践の運営



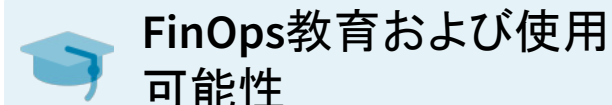
ポリシーとガバナンス



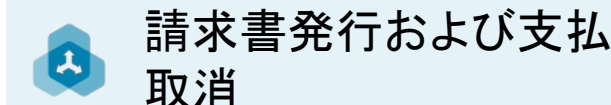
FinOpsの評価



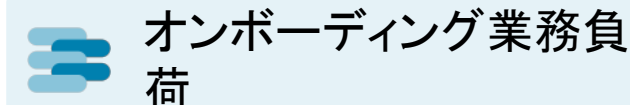
FinOpsツールとサービス



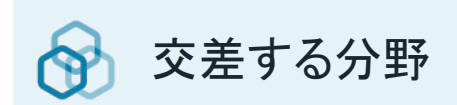
FinOps教育および使用可能性



請求書発行および支払取消



オンボーディング業務負荷



交差する分野